

第32回 法人会全国大会（徳島大会）の報告

税制委員 小林誉光（税理士）

平成27年10月8日（木） 徳島県のアスティ徳島にて、第32回法人会全国大会（徳島大会）が開催されました。今年の全国大会は、第一部が「（例年のような）講師を招いた記念講演」の代わりに、「地方再生をテーマにしたパネルディスカッション」がおこなわれました。

第一部 パネルディスカッション

（テーマ）

日本の山里に、
こんな仕事・移住企業もありますよ
～地方創生の独創的ビジネスモデル～



TVの地上デジタル放送移行に伴い、視聴可能な放送局が3つになってしまう徳島県は、県内全域に「ケーブルテレビ網（光ファイバー）」を設置しました。この光ファイバー網により、県内全域で「高速のインターネット」や「域内の無料電話（IP電話）」が可能になりました。このICT（情報通信技術）を活用した「過疎地域での仕事や移住企業の取り組み」について、2名のパネリストが紹介しました。



「株式会社いろどり 代表取締役 横石知二氏」

つまもの（料理を引き立てるための葉っぱや枝花）を都会の料理店などに出荷する事業をおこなう会社。支える契約農家200軒の平均年齢は70歳のお年寄り。お年寄りが「タブレットPC」を活用した注文システムにより、「無駄なく収穫出荷する仕組み」と（成果の見えることで）「やりがいのある農業」を実現。



「特定非営利活動法人グリーンバレー理事長 大南信也氏」

「ワークinレジデンスによる若者や企業者の移住」、「ITベンチャー企業のサテライトオフィス誘致による雇用の創出」に取り組んでいる。「ワークinレジデンス」とは、「将来町にとって必要な働き手や起業家を、受け入れ側から逆指名するというシステム」で、「パン屋さんをやりたい人はいませんか？」という具合に呼びかけることで人が集うと、そこに新たな仕事や雇用が生まれ、さらに集まった人にとって必要な仕事を集うという仕組みです。

第二部 税制改正要望大会

（1）平成28年度 税制改正に関する提言のご報告

全国法人会総連合では、全国の法人会の役員および税制委員を中心に税制アンケートを実施（有効回答数10,062件）し、それを取りまとめることで税制改正の要望を作成し、国等に対して提言をおこなっています。（詳細は次ページをご覧ください）

（2）青年部会による租税教育活動の報告

山口県の徳山周南法人会の「こどもっちゃ!商店街」の取り組みが紹介されました。（こどもっちゃ商店街→<http://www.kodomoccha.net>）

毎年、勤労感謝の日に実際の商店での職業体験を通して、仮想通貨の給与をもらい、源泉徴収票を発行することで「所得税（源泉所得税）の仕組み」を通じて子供たちに「勤労と納税を実体験」してもらおう取り組みです。